

長野陸協 会報

JAAF NAGANO
NAGANO Amateur Athletics Association

■長野陸協 会報

第158号 平成28年12月26日

発行所 (一財)長野陸上競技協会

発行人 内山了治

編集人 内山良一 葛城光一

U R L : <http://nagano-rk.com/>

E-mail : info07@nagano-rk.com

追悼

故小坂憲次会長



故小坂憲次儀葬儀式場

通夜 10月25日 午後6時より
葬儀 10月26日 午前11時～午後1時

10月21日に70歳で死去した元文部科学大臣、長野陸協会長の小坂憲次さんの通夜が25日18時から都内の青山葬儀所でしめやかに行われ、政財界などから1000名あまりの方が弔問された。告別式は26日午前11時から同葬儀所で行われた。

在り日のお姿を偲び、感謝申し上げるとともに、ご冥福をお祈りいたします(合掌)

(H23年8月 第46回全国高等専門学校体育大会陸上競技開会式、長野市菅陸上競技場)

目次

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| ①故 小坂憲次会長を偲んで | ⑩日本陸連栄章、長野県表彰受賞者 |
| ③塚原直貴選手引退 | ⑩地区陸協訪問「東信地区」 |
| ④第65回長野県縦断駅伝 優勝 上伊那チーム | ⑪荒井広宙選手祝賀会報告 |
| ⑤第32回東日本女子駅伝大会&第32回スーパーレディス駅伝 | ⑫長野陸協創立七十周年事業を終えて |
| ⑥岩手国体の報告とお礼 | ⑬長野陸協会議録 |
| ⑦第47回ジュニアオリンピックの報告とお礼 | ⑬連絡、編集後記 |
| ⑧主要競技会結果記録一覧 | |

小坂憲次会長を偲んで

長野陸上競技協会副会長・会長代行 伊藤 利博

小坂憲次会長のご逝去を悼み謹んでご冥福をお祈り申し上げます。昨年病に臥されましたが、強い精神力と前向きな姿勢を持って病と戦い、長野マラソンの頃はお元気にスターターとして立たれ、参加選手に笑顔振りまき見送っておられ、これはもう大丈夫だと私は信じておりました。八月の全国中学校陸上競技大会には当然出席いただけに思っておりましたが、六月に再入院されるとのお話を伺いびっくりしてしまいました。十月に入り長野県縦断駅伝、そして長野陸上競技協会創立七十周年の行事を控えている関係で秘書の宮原様に連絡したところ、年内は休ませて頂きたいと言うお話を伺って間もなくのご逝去でした。本当に早い最後で、ただ、ただ驚くばかりでした。

八年前宮下創平会長から次期会長候補者に上がった時、国会議員を長く務められ、文部科学大臣を歴任され、又スポーツにもご理解があることを伺い、細田理事長と共に国会議事堂の方へ出向きお願いしたところ、快くお引き受け頂き胸をなで下ろしたことが思い出されます。四期八年の永きにわたり私たち長野陸協の会長として、陸協発展のためにご尽力を頂きました。日本選手権（混成競技大会）も今年で五回目が終了しましたが、こうして毎年開催できるのも、小坂会長なくしてはとても考えられなかったと思います。

長野市営陸上競技場の施設、設備の改善に長野市長と掛け合っ頂き、一つ一つ改善され今日に至っていると思っております。また、一昨年のお元気だった頃の長野マラソンでは、最後のゴールを目指すランナー一人一人に温かい眼差しで声をかけられ迎え入れていた光景は、今でも忘れることのできない思い出となってしまいました。また、昨年八月の東海選手権大会と重なってしまった決算委員長就任の祝賀会では、次期首相候補でもある石破茂氏をはじめとする大勢のご来賓をお迎えしての祝賀会は、小坂会長様には最高の幸せな場面であったかと思われました。奥様や、ご子息、お嬢様に囲まれて嬉しそうな笑顔は今でも忘れることは出来ません。私たち長野陸協の会長として、永きにわたり陸協発展のためにご奮闘頂き、感謝の気持ちで一杯です。残された私たちですが、小坂憲次会長様が切り開いて頂いた道筋をしっかりと守り、長野陸協発展のために努力していく所存であります。どうぞ安らかに眠りください。 合掌

故・小坂憲次氏の略歴

東京学芸大学附属世田谷中学校卒業・慶應義塾高等学校卒業	2001年1月 第2次森改造内閣で初代総務副大臣に就任 4月26日 第1次小泉内閣の総務副大臣に就任
1968年 慶應義塾大学法学部法律学科卒業、 日本航空に入社（-1984年）	2002年1月 総務副大臣を退任 2003年11月 衆議院議員5選
1986年 中曽根康弘秘書	2005年9月 衆議院議員6選 10月31日 第3次小泉改造内閣に文部科学大臣として初入閣
1990年2月 衆議院議員初当選	2008年9月22日 衆議院議院運営委員長に就任
1993年7月 衆議院議員再選	2009年4月 長野陸上競技協会第7代会長に就任 8月30日 第45回衆議院議員総選挙で落選
1994年4月 自由民主党を離党し、同じく長野県選出の 羽田孜が率いる新生党に入党 12月 新進党結成に参加	2010年7月11日 第22回参議院議員通常選挙に比例区から 当選 8月19日 中曽根弘文参議院議員会長の下で自由民主党参議院幹事長に就任（-2011年10月6日）
1996年10月 衆議院議員3選 12月 羽田孜に従って新進党を離党し、太陽党 結成に参加	2011年10月21日 参議院憲法審査会会長に就任
1998年1月 民政党結成に参加 4月 民政党の民主党合流に参加せず、のちに自 民党に復党	2014年9月29日 参議院決算委員長に就任
1999年10月 小淵第2次改造内閣で、郵政政務次官に 就任	2015年11月25日 早期の悪性リンパ腫の治療に専念するた め、来夏の参院選の党公認を辞退する意向を明らかにした。
2000年4月5日 第1次森内閣で、郵政総括政務次官に 就任 10月 第2次森内閣の郵政総括政務次官に就任 6月 衆議院議員4選	2016年10月21日 死去（同日付で叙従三位、旭日大綬章追 贈）。

塚原 直貴 選手 引退表明

後輩に託せる状況になった...



長野陸協が世界に誇る北京オリンピック
400m リレー第一走者、銅メダリストの

塚原直貴 (富士通一東海大一東海大第三高出身) 選手が、
去る 11 月 9 日に母校の岡谷北部中学校創立 70 周年記念式
典講演後、信濃毎日新聞社の取材にて引退を表明した。

塚原選手のおもな活躍は表 1 のとおりであるが、2008 年
北京五輪男子 400mR で銅メダル獲得、100m の自己記録は 10
秒 09、日本選手権では 2006 年から 3 連覇を果たすなど日本
の男子短距離エースとして輝かしい成果を残し、短距
離界を牽引してきた。県内への貢献度も高く、国体も快く
長野のために出場し 100m の他、400m リレーで 38 秒 89 と
いう選抜チーム長野県記録を樹立し、初入賞するなどの
原動力となった。しかし、近年は相次ぐけがに悩まされ、
思うような結果を残せないでいた。

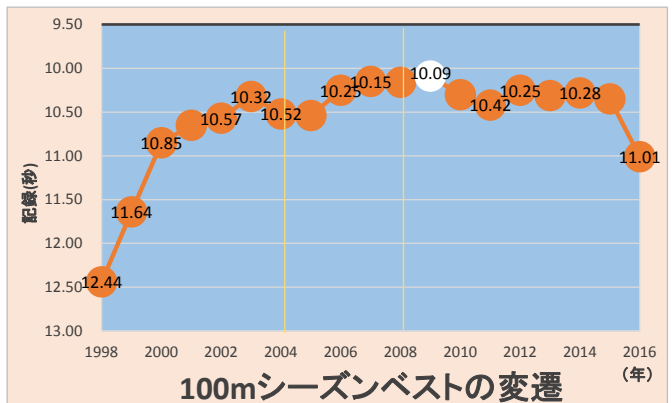
引退表明後、12 月 10 日の長野陸協創立七十周年記念事
業「リオから東京オリンピックへ」と題したシンポジウム
では、引退について、「リオ五輪で 400mR が銀メダルを獲
得し山縣選手や桐生選手などの後輩に託することができる
状況になった」、「一つのけじめとして、所属しているチ
ームより先に、18 歳まで育てて頂いた長野で引退を表明
した」、「高校時代は雪かきなどもトレーニングとして捉
えてしっかり行った」、「可能性を求めチャレンジするこ
とが楽しい」等々、ありのままを語ってくれた。

できれば東京オリンピックまで挑戦して欲しかったが、
これまでの活躍に心から「ありがとう」と申し上げ感謝し
たい。そして、日本の短距離界がさらに世界と戦えるよう
違う一面からご尽力いただくことを節にお願いしたい。

長野陸協としては、明年 7 月 8-9 日の第 70 回長野県選
手権大会 (長野陸協創立 70 周年記念大会) にご招待申し
上げ、引退レースを企画している。長い間、本当にお疲れ
様でした。 (文責 代表理事 内山 了治)

表 1 活躍の足跡

年	所属	学年	記録	日本選手権	世界大会等
1998	岡谷北部 中学校	1年	12秒44		
1999		2年	11秒64		
2000		3年	10秒85	全国中学100m 4位, 200m 3位, Jrオリ200 1位	
2001	東海大 三高校	1年	10秒65		
2002		2年	10秒57	全国高校200m 5位 21.35 (県高新)	
2003		3年	10秒32	全国高校100m 1位 10.32 (県・県高新) 全国高校200m 1位 21.11 (県・県高新)	
2004		1年	10秒52	100m・200m予選 世界ジュニア 100m準決勝、400mR 3位	
2005	東海大学	2年	10秒54		
2006		3年	10秒25	100m 1位, 200m 3位 ワールドカップ 400mR 3位 アジア大会 100m 2位、400mR 2位	
2007		4年	10秒15	100m 1位, 200m 3位 世界選手権 100m 二次予選 世界選手権 100m 二次予選、400mR 5位	
2008		1年	10秒16	100m 1位 オリンピック 100m 準決勝、400mR 3位	
2009		2年	10秒09	100 決勝DNS アジア選手権 100m 2位、400mR 1位	
2010	社会人 富士通 (株)	3年	10秒30	100m 2位	
2011		4年	10秒42		
2012		5年	10秒25	100m 5位	岐阜国体 100m 3位
2013		6年	10秒31	100m 4位	アジア選手権 100m 7位
2014		7年	10秒28	100m 5位	
2015		8年	10秒35	100m 6位	
2016		9年	11秒01		



2014年7月13日 国体予選 100m優勝 10秒38 (長野市営)



(65 回記念大会総合優勝・上伊那チーム)

第 65 回記念長野県縦断駅伝競走大会を振り返って

優勝：上伊那チーム監督 丸山 信一

11 月 19・20 両日、長野→飯田間全 22 区間 217.5km にわたり、第 65 回記念長野県縦断駅伝競走大会が行われました。今年度は「3 連覇」を達成させる為に、特に地元社会人選手の底上げを課題として取り組んできました。大会当日までは、不安な事もいろいろとありましたが、上伊那陸上競技協会を始めとする大勢の皆様のおかげで頂き、本番を迎える事が出来ました。

1 日目は昨年同様悪天候の中でのスタートとなり、1 区の出遅れから 3 区まで厳しい展開となりました。しかし、4 区宮下晴貴(専修大学)が積極的な走りでも 5 位に上げ流れを作ると、続く 5 区清水彩音(長野東)が区間賞の走りでも先頭に立ちました。その後、6 区、今大会最優秀選手に選ばれた大蔵孝典(サンベルクス)の区間新記録、7 区鈴木昌幸(あきやま整骨院)の区間賞と続きました。大門峠に入ってから選手は自分の走りを守り、10 区桃澤大祐(サン工業)が昨年出した驚異的な記録を更に更新する区間新記録の走りでも後続との差を広げ、1 日目の大会新記録、全諏訪には 3 分 40 秒の差をつける事が出来ました。

2 日目はスタートで小原茉莉(赤穂中)が 2 位と好スタートを切り、15 区まで先頭が見える範囲でレースを進め、16 区中山壮一(日本発条)、17 区原広野(箕輪町役場)、18 区荒井優佑(諏訪二葉)の 3 連続区間賞で一気に後続との差を広げると共に、地元の大声援の中を先頭で走っていく事が出来ました。終盤も 21 区高梨良介(トーハツマリーン)が区間賞の走りを見せ、前日に続きトップでのゴールとなり、完全優勝で 3 連覇を飾る事が出来ました。

今大会は、長距離区間を地元社会人選手が走り、しっかり結果を残してくれました。この形を理想としてきたので、今後につながるチームが出来たと感じました。

最後に、大会の運営に関係して下さった全ての皆様にご感謝申し上げます。

大会の主な成績

○総合成績	1位 上伊那 (11' 38:09(新))	2位 全諏訪 (11' 50:44)	3位 上田東御小県 (11' 57:26)
○最優秀選手	大蔵 孝典(上伊那)		
(1 日目)	1位 上伊那 (6' 24:05(新))	2位 全諏訪 (6' 27:45)	3位 飯田下伊那 (6' 31:34)
(2 日目)	1位 上伊那 (5' 14:04)	2位 全諏訪 (5' 22:59)	3位 上田東御小県 (5' 24:07)

第 3 2 回東日本女子駅伝 **優勝**

東日本女子駅伝を振り返って
団長 (駅伝部長) 北島 正孝

第 32 回東日本女子駅伝 (東日本 18 都道府県参加) が 11 月 13 日福島市で開催され、第 25 回大会 (平成 21 年) 初優勝以来 7 年ぶり 2 回目の優勝を成し遂げてくれました。ご報告いたします。

今大会オリンピック 3 名出場と長野にとって厳しさを覚悟して挑む (実業団なしの学生チーム) 形に、この状況の中 (玉城監督)、目標を優勝ではなく「メダル獲得への挑戦」「失敗を恐れない・自分に負けない・あきらめない」とし、選手が臆することなく走れる舞台に。大会前日の最終ミーティング (選手団全員) では、選手がレースにしっかり集中出来る準備を整えて大会当日を迎えました。一区和田有菜選手の最後の最後まで負けないモチベーションを持ち続けた走りが、アンカー玉城選手まで途切れることなく繋がった駅伝だったように思います。勝ち方の模範となるレース展開をみる事ができました。前回優勝の第 25 回大会は、区間賞 0 人で成し遂げた快挙でしたが、今回は 3 人の区間賞者とすべての選手 (補員になった人も) が、チーム長野として大活躍したことで優勝出来たと思います。陸協の選手育成、強化が現実化してきたこともあり、学校顧問の先生、県チーム監督、コーチが年間 (多年に渡り) を通して、春の時点では考えられない状況を秋には全国で通用する選手に育成してしまう、時間を惜しまない指導と熱意、その他色々の上に成りたっていると感じております。

一月には駅伝部最大の年間目標である都道府県対抗駅伝 (女子・男子) を迎えます。お正月もこの大会が終わってからになると思います。引き続き陸上競技協会の皆様、応援して下さっております企業の皆様に叱咤激励をお願いいたしまして、まとまりませんが、「東日本女子駅伝」の報告とさせていただきます。



(優勝した長野県チーム)

第 3 2 回福井スーパーレディス駅伝

FUKUI スーパーレディス駅伝に参加して
監督 (競技部長) 横打 史雄

11 月 13 日 (日) 福井市で開催されました「FUKUI スーパーレディス駅伝」に今年も参加させていただきました。2018 年に開催されます「福井国体」に向けた競技場の改修工事があったため、今年はずいぶりに競技場発着コースでの実施となりました。ただ、競技場周辺は現在も改修工事が行われており、次年度以降もコースの変更がありそうです。

この駅伝は 1 月に行われる都道府県対抗女子駅伝の強化策として、毎年参加させていただいております。高校以上の女子長距離競技者数の少ない本県では、選手育成を強く意識していく必要があります。これからの県代表を担う選手にレベルの高い競技会を積極的に経験させていくことが今大会最大の目的となります。

今年は大学生を 3 名選出し、勝負のできるチームになることを期待しましたが、3 名ともに調子が上がらず苦しい駅伝となりました。ただ、最後のミーティングでこの悔しさを絶対に晴らすと誓う姿には、今後を期待させるものがありました。一方、2~5 区まで並べた高校生 4 名は、一時は各県選抜チーム優勝争いに届くかという攻めの走りで順位を上げてくれました。高校 3 年生が中心でしたので、大学進学後の飛躍を期待したいと思います。

最後に今大会出場にあたり、ご尽力・ご支援をいただきました関係の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

- 2016 チーム結果 長野県選抜 19 位 1:48:17
- ①1:37:04 ヤマダ電機
 - ②1:38:58 九電工
 - ③1:39:27 立命館大
 - ④1:39:49 京都産業大
 - ⑤1:39:57 大阪学院大 A
 - ⑥1:40:13 名城大
 - ⑦1:41:22 シスメックス
 - ⑧1:41:48 エディオン



(北原 誠治団長、チーム一同)

いわて国体の 報告 と お礼 (天皇杯 10 位、皇后杯 6 位)

第 7 1 回国民体育大会 長野県選手団
陸上競技監督 藤森 要 名取 和訓

10月7日(金)から5日間にわたって開催された第71回国民体育大会(2016希望郷 いわて国体)に選手29名、34種目に参加させていただきました。天皇杯11位を目標に掲げて臨んだ今大会でしたが、別紙のとおり15種目において入賞をするという活躍をするとともに、天皇杯10位、皇后杯においては6位入賞という大きな成果を収め、無事大会を終えました。

大会期間中は気温が上がらず、雨・風とめまぐるしく変わる天候の中、5日間を全力で競技する選手と、献身的にサポートいただいたJATAC長野のトレーナー、選手の最高のパフォーマンスを導く努力を惜しまなかったコーチが丸となって「チーム長野」のために戦った姿勢は、他県の選手団からも多くの賞賛をいただきました。

大会を無事終えられましたのも、大会までの合宿及び本大会に快く選手、役員を派遣くださった関係各校及び各企業の皆様と、各校顧問の先生方や長野陸上競技協会の会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

選手団一同、今回の成績を反省すると共に更なる向上心を持って、次年度の愛媛国体にむけて普及強化策をすすめてまいります。今後とも一層のお力添えをお願い致しまして、結果報告とお礼のご挨拶とさせていただきます。



【長野県選手団結果一覧】

※決=決勝 準=準決勝 予=予選 ()内は順位 太字は入賞

(成年男子)

- 100m **原 翔太(スズキ浜松AC)** 決 10.51(7)
- 400m 中野 直哉(早稲田大4) 予 48.26
- 800m **川元 奨(スズキ浜松AC)** 1.51.18(3)
- 400mH 中野 直哉(早稲田大4) 予 53.04
- 10000mW 塩島 亮太(明治大4) 決 42.01.00(12)
- 走高跳 芋川 駿(法政大2) 決 2.00(13)
- 走幅跳 **嶺村 鴻汰(モンテローザ)** 決 7.63(7)

(少年A男子)

- 100m 小出 郁弥(市立長野高2) 予 10.71
- 400m 樋口 一馬(松商学園高3) 予 50.11
- 5000m 名取 燎太(佐久長聖高3) 決 14.11.22(10)
- 棒高跳 **内山 朋也(長野吉田高3)** 決 4.95(3)
- 走幅跳 **内山 朋也(長野吉田高3)** 決 7.23(4)
- ハンマー投 名澤 直樹(更級農業高3) 決 45.19(22)

(少年B男子)

- 100m 西村 陽杜(松商学園高1) 予 11.22
- 3000m **松崎 咲人(佐久長聖高1)** 決 8.20.48(4)

(少年共通男子)

- 800m 大月 海世(東海大諏訪高3) 準 1.55.82
- 走高跳 小野 寛貴(松商学園高3) 記録なし

(成年少年男子共通)

- 4x100mR 準 41.30 (西村、川上、小出、中野)

(成年女子)

- 100m 今井 沙緒里(飯田病院) 準 12.03
- 400m **佐藤 静香(新潟医療福祉大4)** 決 55.78(4)
- 800m 内山 成実(東京学芸大3) 予 2.09.87
- 5000mW **溝口 友己歩(早稲田大1)** 決 22.45.57(5)
- 走高跳 小野 美紗(日本女子体育大2) 決 1.66
- 三段跳 **宮坂 楓(ニッパツ)** 決 13.33(1)
- ハンマー投 **中島 未歩(上田市陸協)** 決 56.74(5)

(少年A女子)

- 100m 田村 有利奈(上田東高3) 予 12.40
- 400m **加藤 詩萌(長野日大高2)** 決 56.76(7)
- 3000m **和田 有菜(長野東高2)** 決 9.16.42(5)
- 走幅跳 **森本 知隼(松本県ヶ丘高2)** 決 5.83(6)

(少年B女子)

- 100m 唐澤 花実(赤穂中3) 準 12.83
- 800m 高安 結衣(長野東高1) 予 2.17.64

(少年共通女子)

- 1500m **和田 有菜(長野東高2)** 決 4.22.71(2)
- 三段跳 **森本 知隼(松本県ヶ丘高2)** 決 12.27(5)

(成年少年女子共通)

- 4x100mR 準 47.17 (森本、今井、唐澤、佐藤)

ジュニアオリンピックの報告とお礼

第 47 回ジュニアオリンピック陸上競技大会 長野県選手団 総監督 宮澤 真一

10 月 28 日(金)～30 日(土) に日産スタジアム (横浜) で行われました第 47 回ジュニアオリンピック大会では、6 種目において入賞することができました。また、自己新記録を 10 個記録するとともに、自己 2 番目 3 番目といった自己記録に近い記録を出した選手も多数おり、徐々にではありますが、大きな舞台で力を発揮できる選手が増えてきました。

「Team Nagano」を合い言葉に選手・コーチが一丸となって戦うことができました。競技がない時間は他の選手のサポートにまわったり、競技場に響き渡る大応援を繰り広げたりと選手団が「長野」の名の下に団結し精一杯の競技をすることができました。

このような成績を残せたのも、大会までの合宿及び本大会に快く選手・コーチを派遣して下さった関係各校の皆様、各校顧問の先生方や長野陸上競技協会の会員の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。各選手とも、成果と同時に課題も見つけることができました。

入賞の陰には、自己新を出していれば入賞、決勝または準決勝進出などという選手も数多くいたのも事実であります。自分の力を大舞台で出し切れるよう、更に努力を重ねて参ります。6 つの入賞のうち 1, 2 年生が 5 つを数えます。次年度の熊本全中につなげるとともに、第 48 回大会での入賞・自己記録更新を目指し、更なる強化策を進めて参ります。今後ともより一層のお力添えをお願い申し上げます。

【長野県選手団結果一覧】

※決=決勝 準=準決勝 予=予選 () 内は順位 太字は入賞

(男子 A)

- 100m 柳澤 祐希(芦原 3) 予 11.32
- 200m 小坂 晃大(仁科台 3) 準 23.47
- 3000m **木村 暁仁(女鳥羽 3) 決 8.33.87(5)**
- 110mJH 堀込 碧(野沢 3) 準 15.38
- 走高跳 高田幸之介(旭町 3) 決 1.75(32)
- 砲丸投(5k) 池上 大希(清水 3) 決 11.11(44)

(男子 B)

- 100m 村石 稜(三郷 2) 予 11.63
- 1500m 片桐 悠人(長野東部 2) 予 4.14.39
- 110mH **原 惇也(浅間 2) 決 15.28(3)**
- 走幅跳 浦野 快生(箕輪 2) 決 5.64(37)

(男子 C)

- 100m **今井 頼人(辰野 1) 決 11.87(2)**
- 1500m 丸山 翔平(川中島 1) 予 4.25.68
- 走幅跳 伊藤 司輝(望月 1) 決 5.48(23)

(男子共通)

- ジャバリックロー 石山 丈(川中島 3) 決 61.19(9)
- 4x100mR 準 43.84 (村石、柳澤、今井、小坂)

(女子 A)

- 200m 唐澤 花実(赤穂 3) 準 26.28
- 200m 樋口 虹夏(波田 3) 準 26.12
- 200m 河田 璃音(上田第五 3) 準 26.24
- 3000m 高松いずみ(開田 3) 決 9.51.88(14)
- 100mYH 林 千尋(伊那 3) 予 15.60
- 砲丸投(4k) 小林 弥希(丸ノ内 3) 決 10.73(14)

(女子 B)

- 100m **北沢 栞(三郷 2) 決 12.35(3)**
- 1500m 千葉麻里子(飯田西 2) 予 4.46.88
- 100mH **深澤あまね(旭町 2) 決 14.71(3)**
- 100mH 塚田 菜々(小諸東 2) 準 15.31
- 100mH **中津 晴葉(更北 2) 決 15.20(8)**
- 砲丸投(2.721K) 西澤 咲花(野沢 2) 決 11.70(14)

(女子 C)

- 100m 窪田 結衣(信明 1) 予 13.65
- 800m 竹岡 紗代(堀金 1) 準 2.24.22
- 走幅跳 土屋ほのか(軽井沢 1) 決 5.00(11)
- 走幅跳 北原 小遥(春富 1) 決 5.05(10)

(女子共通)

- 円盤投(1k) 溝口 佳歩(王滝 3) 決 28.69(13)
- ジャバリックロー 松本 優花(更北 3) 決 41.20(15)
- 4x100mR 準 48.44 (窪田、河田、北沢、唐澤)



**平成 28 年度 (9 月以降)
主要競技会結果記録一覧**
(全国大会は 8 位入賞まで)

第 37 回全日本マスターズ陸上競技選手権大会

期日：平成 28 年 9 月 17 日-19 日

場所：デンカビッグスワンスタジアム (新潟)

(NR: マスターズ日本新記録 GR: 大会新記録 **: 風不明)

【男子】

- ▶M25 110mH(0.991m)
- ①竹内 一弘 16.89(+0.5)
- ▶M35 1500m
- ③大村 一 4:18.80
- ▶M35 5000m
- ③大村 一 16:19.98
- ▶M35 3000mSC
- ②大村 一 10:15.53
- ▶M35 走幅跳
- ⑦池田 健一 5.46(+0.8)
- ▶M40 1500m
- ③松野 淳司 4:26.45
- ▶M40 5000m
- ①松野 淳司 15:37.49
- ③中村 賢太郎 17:27.01
- ▶M40 110mH(0.991m)
- ⑤赤瀬 崇 20.35(**)
- ▶M40 4x100m
- ⑥長野 49.69
(小松 誠・小松 真人・赤瀬 崇・小町谷 直樹)
- ▶M40 4x400m
- ⑤長野 4:02.42
(小松 真人・宮澤 憲二・赤瀬 崇・小松 誠)
- ▶M40 三段跳
- ⑧宮澤 憲二 11.89(+2.1)
- ▶M40 やり投(0.800kg)
- ⑧赤瀬 崇 38.44
- ▶M45 200m
- ⑦中嶋 憲一 24.67(**)
- ▶M45 1500m
- ①利根川 裕雄 4:12.94
- ▶M45 5000m
- ①利根川 裕雄 15:08.66(GR)
- ▶M45 110mH(0.991m)
- ⑧上條 健 20.41(**)
- ▶M45 4x100m
- ⑤長野 56.57
(上條 健・中嶋 憲一・北原 晋也・唐澤 裕二)
- ▶M45 4x400m
- ②長野 4:18.47
(上條 健・中嶋 憲一・北原 晋也・小町谷 直樹)

- ▶M45 走高跳
- ⑤ 宮原 清司 1.65
- ▶M45 走幅跳
- ⑤上條 健 5.38(+0.8)
- ▶M45 砲丸投(7.260kg)
- ⑤牧野 圭介 9.21
- ▶M45 ハンマー投(7.260kg)
- ⑤上條 健 26.22
- ▶M45 やり投(0.800kg)
- ①須崎 一弘 46.19
- ▶M50 砲丸投(6.000kg)
- ⑧松澤 洋 9.80
- ▶M50 ハンマー投(6.000kg)
- ③齊藤 和彦 37.36
- ▶M50 やり投(0.7000kg)
- ⑦松澤 洋 40.37
- ▶M55 800m
- ⑦市川 武 2:21.82
- ▶M55 1500m
- ④市川 武 4:45.81
- ▶M55 5000m
- ⑤市川 武 18:19.99
- ▶M55 走高跳
- ①百瀬 晶文 1.60
- ▶M55 三段跳
- ⑥岩元 義和 10.86(0.0)
- ▶M55 円盤投(1.500kg)
- ⑤百瀬 晶文 29.07
- ▶M60 走高跳
- ②宮本 吉豊 1.45
- ▶M60 棒高跳
- ⑥田中 米人 2.20
- ▶M60 走幅跳
- ③中村 一郎 4.99(0.0)
- ▶M60 三段跳
- ④宮本 吉豊 9.92(+0.1)
- ▶M65 60m
- ①高橋 政幸 8.11(**)
- ▶M65 100m
- ①高橋 政幸 13.04(**)
- ▶M65 100mH(0.840m)
- ①高橋 政幸 15.53(**) (NR/GR)
- ▶M65 2000mSC
- ③山岡 清孝 8:59.96
- ▶M65 3000mW
- ⑧山田 賢一 23:09.17
- ▶M70 100m
- ⑤天沼 昭彦 14.54(**)
- ▶M75 円盤投(1.000kg)
- ①山田 榮一郎 31.08
- ▶M75 ハンマー投(4.000kg)
- ③山田 榮一郎 35.69
- 【女子】**
- ▶W35 60m
- ①熊谷 香織 7.96(+0.5)
- ▶W45 走幅跳
- ①西澤 香 4.74(+0.7)
- ▶W45 三段跳

- ①西澤 香 10.26(-0.6)
- ▶W60 3000mW
- ①矢澤 美代子 18:39.07
- ▶W65 60m
- ②大日向 暁子 9.71(**) (GR)
- ▶W65 100m
- ①井尻 けさ代 15.91(**)
- ▶W65 200m
- ①井尻 けさ代 33.35(+0.4)
- ▶W65 走幅跳
- ①大日向 暁子 4.06(0.0)
- ▶W65 三段跳
- ①大日向 暁子 9.57(0.0) (GR)
- ▶W75 60m
- ③鶴見 文子 13.10(+0.4)
- ▶W75 100m
- ③鶴見 文子 22.51(+0.5)
- ▶W75 走幅跳
- ⑤鶴見 文子 2.20(+0.2)

第 64 回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会

期日：平成 28 年 9 月 24 日-25 日

場所：ヤンマースタジアム長居 (大阪)

【男子】

- ▶走高跳
- ⑧片平 大地(アイ・ブランニング) 2.00
- 【女子】**
- ▶100m
- ④今井 沙緒里(飯田病院) 11.87(+0.1)
- ▶200m
- ⑤今井 沙緒里(飯田病院) 24.46(+0.7)
- ▶10000mW
- ⑦大和 千秋(飯田病院) 49:27.03
- ▶走高跳
- ⑤戸谷 真理子(緑ヶ丘中教) 1.70
- ▶ハンマー投(4.000kg)
- ④中島 未歩(上田陸協) 56.54

第 32 回日本ジュニア陸上競技選手権大会

期日：平成 28 年 10 月 21 日-23 日

場所：パロマ瑞穂スタジアム (愛知)

【女子】

- ▶走高跳
- ⑦小野 美紗(日女体大) 1.65

第 10 回日本ユース陸上競技選手権大会

期日：平成 28 年 10 月 21 日-23 日

場所：パロマ瑞穂スタジアム (愛知)

【男子】

- ▶三段跳
- ①竹井 温巧(東海大諏高) 14.89(+0.4)
- 【女子】**
- ▶400m
- ⑦加藤 詩萌(長野日大高) 56.37
- ▶走幅跳
- ⑧森本 知隼(松本県ヶ丘高) 5.67(+1.3)

▶三段跳

⑦森本 知隼(松本県ヶ丘) 12.00(+0.7)

男子第 53 回女子第 29 回北信越高等学校駅伝競走大会

期日：平成 28 年 11 月 20 日

場所：鯖江つつじハーフマラソンコース(福井)

【男子】7 区間 42.195km

- ①佐久長聖 2:06:33
- ②長野日大 2:09:30
- ③中越(新潟) 2:09:51

【女子】5 区間 21.0975km

- ①長野東 1:10:32
- ②開志国際(新潟) 1:14:48
- ③新潟産大附 1:15:10

第 27 回長野県中学校駅伝大会

期日：平成 28 年 11 月 3 日

場所：県松本平広域公園陸上競技場内周回コース

【男子】6 区間 18.0km

- ①川中島 57:53
- ②箕輪 58:38
- ③駒ヶ根東 58:52

【女子】5 区間 12.15km

- ①川中島 43:15
- ②菅野 43:30
- ③赤穂 44:29

第 10 回北信越中学校駅伝大会

期日：平成 28 年 11 月 23 日

場所：県松本平広域公園陸上競技場内周回コース

【男子】6 区間 18.0km

- ①雄山(富山) 57:17
- ②川中島 57:26
- ③小千谷(新潟) 57:45

【女子】5 区間 12.15km

- ①堀川(富山) 42:17
- ②津幡南(石川) 42:39
- ③菅野 42:52

第 32 回東日本女子駅伝競走大会

期日：平成 28 年 11 月 13 日

場所：FTVふくしまマラソンコース(福島)

9 区間 42.195km

総合成績 2:17:55

優勝(7年ぶり 2 回目)

※個人成績(順位は区間順位)

- 1 区(6.0km)
- 和田 有菜(長野東高) 19:18 1 位
- 2 区(4.0km)
- 松澤 綾音(長野東高) 13:03 2 位
- 3 区(3.0km)
- 高安 結衣(長野東高) 10:08 3 位
- 4 区(3.0km)

速報 5 位入賞
川中島中学 男子

- 高松 いずみ(開田中) 9:57 8 位
- 5 区(5.0875km)
- 湯澤 ほのか(名城大) 16:49 4 位
- 6 区(4.1075km)
- 細田 あい(日体大) 12:53 1 位
- 7 区(4.0km)
- 岡村 未歩(長野東高) 13:41 5 位
- 8 区(3.0km)
- 久保田 絢乃(丸子北中) 9:23 1 位
- 9 区(10.0km)
- 玉城 かな(名城大) 32:53 4 位

第 32 回スーパーレディス駅伝競走大会

期日：平成 28 年 11 月 13 日

場所：スーパーレディス 30km(福井)

6 区間 30.0km

総合成績 1:48:17 19 位

※個人成績(順位は区間順位)

- 1 区(6.0km)
- 川上 綾香(日体大) 21:54 23 位
- 2 区(3.0km)
- 村上 愛華(長野東高) 10:00 12 位
- 3 区(4.0km)
- 臼田 彩花(長野東高) 13:51 13 位
- 4 区(3.99km)
- 竹内 優花(東海大諏訪高) 13:56 11 位
- 5 区(5.01km)
- 今井 萌(長野東高) 17:31 12 位
- 6 区(8.0km)
- 笹沢 今日子(城西大) 31:05 23 位

平成 28 年度全国中学校体育大会

第 24 回全国中学校駅伝大会

期日：平成 28 年 12 月 18 日

場所：滋賀県・希望が丘文化公園スポーツゾーン特設コース

【男子】6 区間 18.0km

- ①平野(兵庫) 57:31
- ②領家(神奈川) 57:35
- ③新居浜西(愛媛) 57:38
- ...

⑤川中島(長野) 57:45

※県勢男子初入賞

- 1 区 越 陽汰 2 9:28(13)
- 2 区 丸山 拓真 3 9:19(2)
- 3 区 丸山 翔平 1 9:41(11)
- 4 区 塩入 洋弥 3 9:50(18)
- 5 区 三井 悦志 3 9:55(9)
- 6 区 三井 航志 3 9:32(3)

【女子】5 区間 12.15km

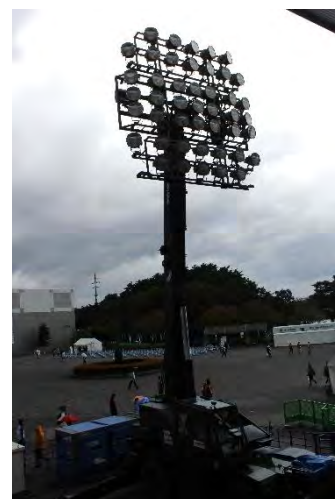
- ①桂(京都) 41:01
- ②荒井(兵庫) 41:57
- ③大野東(広島) 42:10
- ...

⑩川中島(長野) 43:22

- 1 区 和田 帆香 3 10:55(36)
- 2 区 和田 真菜 3 6:59(11)
- 3 区 宮澤 実亜 1 7:18(19)
- 4 区 宮澤 美裕 3 7:13(13)
- 5 区 堀内 あかり 3 10:57(20)



北信越中学駅伝スターター
矢嶋 誠信(濃毎日新聞事業局 局長)



岩手国体 仮設照明：4 基

文部科学大臣表彰

10 月 7 日 都内中央合同庁舎にて表彰された。

○平成 28 年度生涯スポーツ功労者表彰

下川 泰秀氏 (県陸協副会長)

(公財)日本陸上競技連盟 2015 年度栄章

第 71 回いわて国体(10 月 8 日)で、次ぎの方々が受章された。



○秩父宮章 下川 泰秀氏 (県陸協副会長)(右から二人目)

○高校優秀指導者章 内山 みのり氏 (左から二人目)

2011 世界ユース 400mH 4 位他 瀧沢 彩選手指導

○中学優秀指導者章 杉村 秀樹氏 (右端)

2013 全国中学四種競技 2 位他 竹村 地智選手指導

○2016 年度・勲功章

荒井 広宙選手 リオ五輪 50km 競歩 銅メダル

○2016 年度・競技者育成章

荻原 信幸氏 荒井 広宙選手の高校時代の指導者

○少年少女陸上競技指導者表彰 (安藤百福記念)

油井 歩氏 佐久陸協 (8 月 20 日(土) 第 3 2 回全国小学生陸上競技交流大会において表彰された)

長野県 表彰者紹介

○長野県スポーツ特別栄誉賞 (9 月 15 日)

リオデジャネイロオリンピック入賞者

荒井 広宙氏 (自衛隊体育学校) 50kmW 3 位

○長野県スポーツ栄誉賞 (11 月 9 日)

大迫 傑氏 (ナイキ・オレゴンプロジェクト)

藤澤 勇氏 (ALSOK)

川元 奨氏 (スズキ浜松 AC)

○長野県教育関係功労者表彰 社会体育功労

(11 月 18 日)

浦野 義忠氏 (元長野陸協副理事長、現 長野陸協評議員、長野市陸協 会長)

平成 28 年 11 月 18 日 (金) 長野県の教育行政、学校教育、学校保健、社会教育、社会体育の振興及び文化財の保護に関して功績のあった方が、教育長から表彰された。

地区陸協訪問 東信地区



活動報告

東信地区陸上競技協会・理事長 上原 羊二

東信地区陸協は、上田陸協と佐久陸協の 2 つの支部があり、本年はご存知のとおり、NHK 大河ドラマ「真田丸」の話題が沸騰し、私なども欠かさず見ている者の一人ですが、佐久地方は少々霞んでしまっております。これに匹敵する話題はないかと考えてみましたが、ありました。新海 誠監督映画「君の名は」です。こちらは風景として、諏訪湖や佐久の風景かなと思われるシーンがあります。しかし、舞台となっているのは、岐阜県です。

さて、上田古戦場ハーフマラソンが毎年盛大に行われています。本年も、3000 名近い参加者で大変な賑わいでした。佐久でも、ハーフマラソンを行っています。500 名ほどの参加者というところですが。競技場発着の公認コース開催 2 年目の本年は、参加者の大幅増をめざし、ゲストランナーに、猫ひろしさんと嶋原清子さんを迎えて行われました。ねこさんはさすがですね、観客の皆さんを大いに沸かせてくれました。RIO オリンピックに出場したことなど、直接お話を伺うチャンスにも恵まれ大変幸運でした。とても気さくな方で内心おどろきましたが、それにも増してありがたいと思ったことは、終了までトラックを何周もジョグされていたことです。本当に走ることが好きなのだと感じました。参加した方々、応援のみなさんにとっても、素晴らしいプレゼントになったのではないのでしょうか。

次に各支部陸協の事業についてです。一つ目は上田陸協主催、伝統ある「全信州」大会についてです。かつては、シーズンを締めくくる大会として、県内の一線級の選手が出場していました。好記録が大会記録として残されています。しかし、参加者の減少など時代のニーズの変化に対し、その対策として本年度リレー種目が新たに追加されました。この柔軟な対応は参加者の減少に歯止めをかけたばかりでなく、素晴らしい解決策として一つの方向を示すものであり、参考にさせていただきたいと思えます。

もう一つは佐久陸協主管の、「マスターズ」大会についてです。8 月の第 2 週ということ、とても暑い時期でしたが、県内外から多くの選手に参加いただきました。佐久総陸のロケーションは素晴らしい、北に浅間山、南に八ヶ岳、遠く西には、北アルプス槍ヶ岳を望むことができます。やや風が強くなることを除けば、選手の方々には大変好評でした。しかしながら、運営側としては、審判員の不足、補助員の確保の難しさなど苦しいものもありました。それでも終了時、参加された選手の皆さんから良い大会だったとの感想をいただけたことは、大変うれしく感じています。

ところで、2020 年には、いよいよ東京オリンピックが開催されます。あと 4 年後に迫っています。現在の中高生の中から、東京オリンピックへ選手として出場する可能性が大いにあるわけですが。指導する側としても緊張感を高めたいところです。そして、夢を大きく膨らませたいものです。

県内の支部同様、審判員の高齢化の波は、当地区でも進行しています。今後取り組むべき課題として、選手育成と並んで大きな問題として取り組んでいかなければなりません。それには、若々しい大きな力が必要です。選手・指導者・そして審判員が三位一体となり、「育てる」体制を力強く進めていかなければと考えております。微力ではありますが、今後も引き続きご指導のほどよろしくお願いいたします。

祝 荒井広宙選手 祝賀会報告 (リオ/ 50 km競歩 銅メダル)



(荒井選手、日本代表麻場監督に花束の贈呈)

平成28年9月15日(木)、長野市の犀北館ホテルにて、ご来賓、会員あわせて100名を超える皆様のご出席の中、第31回オリンピック競技大会(リオデジャネイロオリンピック)50km競歩で銅メダルを獲得した荒井広宙選手の報告・祝賀会が盛大に開催されました。

荒井選手は、長野県出身者では、北京五輪4×100mリレーで銅メダルを獲得した塚原直貴(東海大三高出、現富士通)に次ぐ2人目、初の夏季オリンピック個人種目の男子選手のメダリストとなりました。

会では、公務のお忙しい中ご来席いただいた、阿部守一長野県知事より、「長野県民に夢と感動を与えてくれた。」と、また、渡辺重久信濃毎日新聞社代表取締役専務からは、「素晴らしい偉業であり、努力を称えたい。」等の祝辞を頂戴いたしました。

荒井選手に介添えいただいた、麻場一徳日本陸連総監督(当時・陸連強化委員会委員長)からは、3位フィニッシュ後、カナダからの上訴で一度失格となった後、日本陸上競技連盟側が不服として上訴し、再度一転し、荒井選手が日本競歩界初の銅メダルを獲得した顛末をまじえながら、大会の報告がありました。

祝賀会の中では、荒井選手が所属する自衛隊体育学校の益子卓様(第2教育課長)よりお礼の言葉と次の東京オリンピックに向けての抱負が力強く語られました。

当日は同じ競歩で7月に開催されたU20世界陸上競技選手権大会で8位に入賞した溝口友己歩選手(早稲田大1年)も駆けつけて花束を贈呈され、この偉業に花を添

荒井広宙(あらい ひろおき、1988年生まれ)

上高井郡小布施町出身。中野実業高校2年のとき競歩を始める。福井工業大学卒業後、石川県北陸亀の井ホテルに所属し競技を続け2011年世界陸上競技選手権大会50km競歩に出場
2013年より自衛隊体育学校に所属
2015年世界陸上競技選手権大会50km競歩で4位入賞
2016年全日本選手権でオリンピック派遣標準記録を上回り、リオデジャネイロオリンピック50km競歩日本代表に選出3位銅メダル獲得

えてくれました。

荒井選手からは、銅メダル獲得にいたる関係者への謝辞と、東京オリンピックに向けた意気込みが力強く語られ、万雷の拍手を受けました。

会の後半では、中野実業高校時代の恩師である荻原信幸先生より当時の様子や競歩を始めた経緯などについて、また、同じ高校の先輩であり、20km競歩でリオオリンピックに出場した藤澤勇選手(ALSOK)の思い出も交えての話が披露されました。

更に、高校時代の担任であった渡辺智先生より普段の学校生活の様子についてもお聞きすることができ、メダリストの成長を祝福していました。

多くの参会者は獲得した銅メダルを直に触り、また、自らもメダルをかけての写真撮影など、多いに盛り上がった祝賀会となりました。



(左から、阿部知事・荒井選手・麻場監督)

荒井選手は多くの列席者からの写真撮影のリクエストに、すべてにこやかに対応され、結局会が終わるまで一度も着席することなく、対応していただきました。荒井選手のすばらしい人間性が垣間見られた光景でした。

和やかな会の最後には小池文明様(信越放送株式会社テレビ局長)より万歳を頂き祝賀会は終わりとなりました。今後、荒井選手につづき、長野県の選手の多くが東京オリンピックに出場して、更なるメダル獲得に期待したいものです。



(中締めを頂いたSBC信越放送 小池テレビ局長と)

長野陸協七十周年記念事業を終えて

実行委員長 内山 了治

12月10日(土)に開催した長野陸上競技協会創立七十周年記念事業に際しましては、師走のお忙しい中、ご臨席を賜りました日本陸上競技連盟尾縣専務理事、東海・北陸陸上競技協会各県会長・専務理事・代表の皆様、小松衆議院議員、荻原県議会議員(長野県体育協会副会長)・県議会議員の皆様、阿部知事をはじめ行政・体育協会関係の皆様方、常にご協賛を頂いている報道・企業の皆様方、都道府県対抗駅伝等で大変お世話になっている県人会の皆様方、国体を始め各種競技会でサポートを頂き無くてはならない存在のJATAC NAGANOの先生方、本協会協力団体の皆様方、そして長野陸協でご活躍頂いた皆様方、会員の皆様、すべての皆様方に心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。また、長野陸協理事並びに実行委員会メンバーが中心になり、準備を進めてまいりましたが、不行き届き並びに失礼な点が少々ございましたことを、心からお詫び申し上げます。慶事に免じてお許し下さいますようお願い申し上げます。

そして、三部構成の本事業に長時間に渡り、ご臨席を賜りましたことに感謝申し上げます。



出席者(名)	シンポジウム	記念式典	祝賀会
ご来賓	92	104	109
褒状選手	12	15	11
長野陸協	245	197	198
一般	62		
合計	411	316	318



シンポジスト：左から尾縣・荻原・塚原・中村・内山・玉城(敬称略)

シンポジウム

「リオデジャネイロから東京オリンピックへー地方陸協の現状と課題ー

(進行 葛城光一総務委員長)

<シンポジスト>

尾縣 貢氏 日本陸上競技連盟専務理事、JOC 理事、筑波大学教授 博士(体育科学)

荻原 健司氏 北野建設株式会社CSR推進室スキー部ゼネラルマネージャー、長野県教育委員会委員

中村 恵一郎氏 信濃毎日新聞社運動部次長

塚原 直貴氏 富士通株式会社

内山 了治 長野陸上競技協会代表理事(理事長)、国立長野高専教授 体育学修士・博士(工学)

<コーディネーター>

玉城 良二 長野陸上競技協会理事(副理事長)、長野東高校教諭





【尾縣氏】

①オリンピックを控えたスポーツ界の現状
 ☆文化としてのスポーツを高める必要がある!
 ②東京オリンピックに向けての目標と課題
 ◆競技成績
 ◆競技運営
 これらの3本柱として

- ・アスリートの活躍→ブロックから個人の強化へ本番で力を発揮できるか!!…国際経験が必要
- ・日本らしい取り組み ・レガシーの創造

③陸連の中長期計画

- ◆オリンピックレガシーの継承：普及育成の観点
- ◆ウェルネス陸上の提唱



【荻原氏】

☆スキー連盟は、「スター選手」をまず作る。国際経験・交流を積む
 ☆SNS も英語で書き込むことを選手にも指導している。
 ☆何事も積極的に！パーティには必ず出席する、スワンププロジェクトの活用

☆東和田（長野市営）の競技場には屋根を付けましょう!!



【藤森 普及強化委員長】

☆選手強化の立場から、高体連や中体連と連携した取り組みを心掛けたい。
 ☆本番に強い選手を育てるため積極的に海外へ武者修行に出たいが、予算的に困難なので県外へ積極的に出たい。



【玉城 コーディネーター】

受け皿と強化費どちらも必要ですが、皆さんご協力お願いします…
 選手のほうから…
 では嶺村、宮坂…



【中村氏】

☆様々な種目、選手がいる。県内にいる場合、如何に繋げるかがポイント。それが「伸びる選手」の第一歩。
 ☆受け皿作りが必要、活躍している選手は、もともとは地域で発掘し育成した。予算面も

含めて、県内で続けられる環境が必要である。
 ☆陸連もそのような観点から、地方への支援が必要と言える。

【塚原氏】

☆尾縣専務、何故ナショナルトレセンの走路のサーフェスは全天候ではなかったのですか？
 ☆長野にも、冬でも使える雨天走路があれば良いですね…



【土屋氏】長野市スポーツ協会理事長、株式会社エムウェーブ代表取締役社長

☆M ウェーブはナショナルトレーニングセンターに指定されているため、一般競技者の使用は制限があるが、大いに活用して欲しい。地下の駐車場なども利用は可能である。



【嶺村・宮坂選手】
 英語は適宜使っています。東京目指してがんばります!!

【内山理事長】

貴重なご意見ありがとうございました。陸協組織を強固にして、課題解決に取り組みます。企業の皆様方をはじめ多くの皆様のご支援を引き続きお願いします。



記念式典



主催者挨拶：長野陸協 伊藤会長代行



来賓祝辞：県議（県体協副会長）萩原様



ご挨拶
信濃毎日新聞社代表取締役専務 渡辺様



20年間で多大なるご協賛・ご支援を頂いた企業の皆様へ感謝状と記念品を贈呈



20年間に、オリンピック、世界選手権出場、日本選手権優勝等、大いなる活躍をした選手に褒状と記念品を贈呈



多年にわたり長野陸協に貢献されたS級審判員 114名に表彰状（代表 最高齢 米山氏）が贈呈された。



東日本女子駅伝 優勝旗



祝 賀 会



乾杯 尾縣 貢 様



ご祝辞 衆議院議員 小松 裕 様



ご祝辞 長野県知事 阿部 守一 様



司会者：左から 久野信越放送アナウンサー、葛城総務委員長、右端は青柳審判部長



閉会の言葉 中條 副会長



中締め SBC信越放送(株) 代表取締役社長 北島 義仁 様



長野陸協会議録

第 25 回理事会 平成 28 年 8 月 12 日 15:00~17:00

開催場所 ホテルモンターニュ松本

出席者 理事 20 名、監事 2 名

議事 (議長 内山代表理事)

1. 協議事項

議案 第 1 号 前半の大会等の反省 (競技運営委員会)

競技運営委員会より上半期の総括、各競技会の反省次年度の課題について提案があり、異議なく承認された。

議案 第 2 号 日本混成関係、決算、反省

足立理事より中間報告があり、最終的に長野陸協の持ち出し分はない状況であることが説明された。

議案 第 3 号 70 周年記念事業について

予算案を基に、実行委員長内山理事より提案があり承認された。

議案 第 4 号 県縦断駅伝安全対策について

理事長より資料を基に「安全対策」の陸協案の提案があり、承認された。

議案 第 5 号 国体選手団の決定

藤森理事、玉城理事より選考会議の結果報告、選手団の提案があり、原案とお承認された。

議案 第 6 号 駅伝等長野県選手団役員・コーチ等の決定

玉城理事より提案があり、原案とお承認された。

議案 第 7 号 公認競技会申請規定改定について

公認競技会の申請ならびに、更新についての提案がなされた。2 月の理事会で原案を確定していくことで承認された。

第 26 回理事会 平成 28 年 9 月 13 日

電磁的記録による会議

クラウドでの参加理事数 20 名

議案 荒井広宙選手のリオ五輪銅メダル獲得褒賞金について

一般財団法人長野陸上競技協会平成 28 年度一般会計予備費 (4,723,890 円) から、50 万円を支出する件の提案が有り、賛成 20 名で承認された。

第 27 回理事会 平成 28 年 11 月 26 日 13:00~17:30

開催場所 信州スカイパークやまびこドーム

出席者 理事 22 名、監事 3 名

議事 (議長 内山代表理事)

1. 協議事項

議案第 1 号 日本陸連・日体協・日体育協会栄章候補者について

栄章審議特別委員会中條委員長より提案があり原案とお承認された。

議案第 2 号 長野陸上競技協会栄章候補者について

栄章審議特別委員会中條委員長より提案があり原案とお承認された。

議案第 3 号 長野陸協栄章候補推薦基準の改定について

法制委員会より提案があり原案とお承認された。

議案第 4 号 荒井広宙選手銅メダル獲得祝賀会決算報告について

経理部長より報告があり、原案とお承認された。

議案第 5 号 70 周年記念事業について

内山実行委員長より説明があり、原案とお承認された。

議案第 6 号 2017 年度競技日程案について

横打競技部長より第 1 次案が提案され、今後の微調整を含め原案とお承認された。

議案第 7 号 長野陸協専門委員会内の専門部の改編について

葛城総務委員長より提案があり、原案とお承認された。

議案第 8 号 終了した競技会の反省等

横打競技部長より説明があり、異議無く承認された。

その他

(1) 県ロードレース大会見直しについて提案が有り、異議はなく、検討することで承認された。

(2) 全中反省と課題について、宮澤ジュニア部長より報告があった。

(3) 登録費・役員費等の改定について、下川財務委員長より資料提案があり、この案を各支部で検討していただき 2 月の理事会で審議し決定していきたいとの説明があった。

(4) 松本マラソンについて、下川副会長 (中信会長) より、公認コースの検定が 12 月 10 日に行われる、長野マラソンで研修を行う等の説明があった。

連絡 : H29 年念頭の諸会議等、今からご予約下さい

◆名誉役員・評議員・役員(理事・監事)新年会

1 月 7 日(土) 13 時 30 分 松本 みやま荘

◆新理事予定者会議 : 2 月 4 日(土) 10 時 松本

◆第 28 回理事会 : 2 月 4 日(土) 13 時 松本

◆第 13 回評議員会 : 2 月 11 日(土) 13 時 長野市

◆全体協議会 : 2 月 11 日(土) 14 時 30 分 長野市

◆長野陸協 2016 アワード : 2 月 11 日(土) 16 時

長野市 長野ホテル犀北館

◆長野マラソン主任会議 : 3 月 25 日(土) 長野市

◆日本陸連審判員講習会 : 3 月 26 日(日) 松本大学

※H29 年度登録費等を変更する予定です。2 月 11 日の評議員会で審議されます。よろしくお願ひします。

編集後記

平成 28 年度の事業も 12 月まで無事終了しました。これも会員の皆様のご協力あってのことと感謝しています。また、12 月 10 日の 70 周年記念式典には多くの皆様にご出席いただき併せてお礼申し上げます。今後ともよろしくお願ひいたします。

総務委員長 : 葛城 光一

2016 年も終わろうとしています。オリンピックイヤーとして、スポーツ界 (陸上競技) が盛り上がりました。会報の編集していく中で、多くの方にご依頼し、ご協力して頂きました。本当に、ありがとうございました。長野県から新たなメダリストが誕生したことで、2020 年の東京オリンピックへ向けて弾みがついたように思います。また、長野陸協創立 70 周年事業では多くの方が参加し、盛大に開催することができました。2017 年は酉年です。大きくはばたく 1 年にしたいものです。担当 : 内山 良一